

## 作型

種いもは毎年更新する。(自家用種いもはウイルス病にかかっている場合がある。)マルチ栽培すると早取りが可能となる。連作を嫌うので、ナス科(なす、トマト、ピーマン等)を2~3年作っていない場所を選ぶ。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			△△	—			■	■					メークイン・男爵・キタアカリ

△：植え付け ■：収穫

## 畑の準備・定植

<b>土づくり</b>	<b>1a当たり</b>
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	5kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
<b>元 肥</b>	<b>1a当たり</b>
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 2条植え 畝幅100~120cm 株間30~40cm(条間40cm千鳥植え)
- 深さ10cmの溝を掘り、底に元肥を施用後、間土し、いもの切口を下に向けて植える。
- 覆土は種いもの厚さの3倍程度(5~10cm)

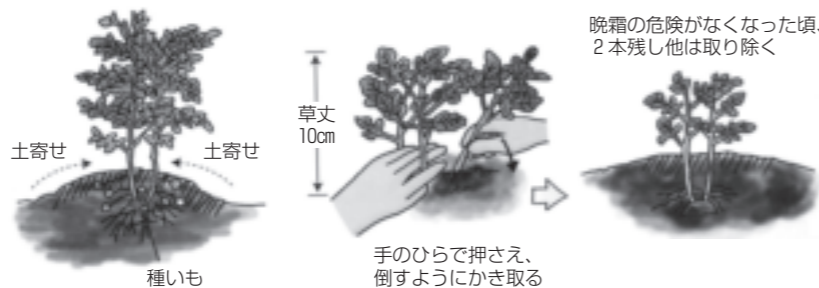
**■種いもの準備**  
30~40gの種いもを用いる。60g以上のいもは30~40gとなるよう(芽が全て均等に付くよう)に切り、陰干し乾燥させる。

よい種いもを選ぶ

普通      伸びすぎて消耗      休眠中

## 間引き・追肥・土寄せ

- 草丈10cm頃：肥大促進のために大きく大きい芽を2~3本残し、野菜専用肥料4~5kg/aを施用後、土寄せを行う。
- 草丈15~30cm頃：株元に5cmの厚さに土寄せをする。(2回程度)



## 防除

病害虫名	耕種防除	農薬による防除
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	オルトラン水和剤 1,000~1,500倍 7日前まで4回
テントウムシダマシ	捕殺を行う	アディオソ乳剤 2,000~3,000倍 14日前 4回
ヨトウムシ	早期発見し、分散前に捕殺する	エルサン乳剤 1,000倍 14日前 2回

## 収穫

- 地上部が枯れるまでいもは肥大し続ける。
- 3~4日晴天が続き、土が乾いている時に傷付けないように掘る。(新しいいもは皮が弱いので、丁寧に掘り取る。)

**■貯蔵**  
収穫したら積み上げないようにして日陰で乾かす

直射日光に当てると緑化し品質を損ねる

裏面は果樹の剪定を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

## 剪定時期

剪定は大きく冬期剪定(休眠剪定)と夏期剪定に分けられます。果樹では一般的に剪定といえば、冬期剪定をいいます。夏期剪定は、摘心や芽かきも含めた呼び方をします。冬期剪定の時期は、晩秋から発芽までの間(3月迄)。落葉果樹は葉が落ちれば剪定できます。常緑果樹の中でも特に耐寒性の弱いものは、3月に入って寒さの心配が無くなってから行います。剪定の早過ぎ、遅れは養分の損失などがおこるので注意しましょう。

## 剪定の目的

- 木を素直に育てる
- 枝、葉の混雑をさける
- 作業をしやすくする
- 毎年良い実を平均的にならせる
- 風害を少なくする
- 管理をしやすくする
- 木の大きさを調整し制限する

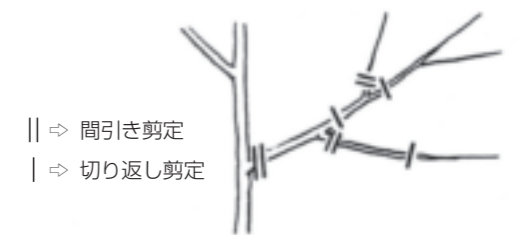
## 果樹種類と冬剪定

果樹種類	冬剪定の時期
カキ	落葉~3月
クリ	落葉~3月

## 枝の切り方

- ①切り返し剪定**…枝の途中(分岐点以外)で切る。
  - 骨組みになる枝を作る場合
  - 老齢枝(樹)の勢力を回復させたいとき
 ※切り返し剪定ばかりだと樹が強くなりすぎ、果実がならないときがあります。
- ②間引き剪定**…枝の分岐の根元から切る。
  - 樹を落ち着かせるとき
  - 枝に日光を多く当てたいとき
 ※間引き剪定ばかりだと樹が弱ってしまいます。

## 間引き剪定と切り返し剪定



若い木の剪定では、骨組みになる枝以外は間引き剪定を主に。できるだけ弱い剪定を行って、早く木を大きくさせると共に花芽をつき易くさせます。老齢枝(樹)には、やや強い切り替えし剪定を行い刺激を与えてやると、発育枝の発生が促されます。

## 剪定のポイント

- まんべんなく日光が当たるように剪定していきます。
- 太い枝は最小限に。一目見て主枝、垂主枝がわかるように行いましょう。

## 剪定するとき除去したい枝

**細い枝を切る**  
節間剪定(ブドウ、イチジクなど)  
芽より5mmほど上で切る

**太い枝を切る**  
上から下に、切り口がもっとも小さくなるように切る

裏面はばれいしょを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。